



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社アルマード 上場取引所 東
 コード番号 4932 URL <https://www.almado.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 史朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤 博雅 TEL 03(4334)1126
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,843	17.3	293	△52.8	298	△52.1	205	△52.4
2022年3月期第3四半期	4,130	23.2	621	45.4	624	43.4	432	46.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.08	20.98
2022年3月期第3四半期	42.88	42.02

(注) 2022年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2021年6月24日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場したため、新規上場日から前第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,694	1,943	52.6
2022年3月期	3,363	2,688	79.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,943百万円 2022年3月期 2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期 (予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	21.2	803	△3.9	808	△3.4	560	△3.8	57.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご確認ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	10,394,000株	2022年3月期	10,394,000株
2023年3月期3Q	841,642株	2022年3月期	397,800株
2023年3月期3Q	9,765,897株	2022年3月期3Q	10,076,291株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、行動制限の解除や入国規制の緩和に伴い、経済活動は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、原材料価格の高騰や急速な円安の進行の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社は3つの経営ビジョンの下(※1)、卵殻膜美容液の更なる認知度向上を狙ったテレビCMの放映により、直販の新規顧客獲得数が拡大したことで売上高が増加した一方、広告宣伝費が一時的かつ多額に発生したことで利益は減少しました。

その結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高4,843,668千円(前年同期比17.3%増)、営業利益293,168千円(前年同期比52.8%減)、経常利益298,851千円(前年同期比52.1%減)、四半期純利益205,849千円(前年同期比52.4%減)となりました。

- ※1・先進諸国に到来する高齢化社会において、人々の健康、若さ、そして美しさの維持・向上による“生活の質”の向上という根源的なニーズに、“卵殻膜”を通じて貢献する。
- ・卵殻膜の多機能な効果及び効能を科学的に解明し、常にユニークで最高品質の商品開発にこだわり、それを世界に提供する。
 - ・“卵殻膜”で、美容と健康分野において、新しい価値観を浸透させる。

なお、当社は卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の販売チャネル別の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減額 (千円)	前年同期比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
TV通販	1,092,017	26.4	1,121,597	23.2	29,580	102.7
外販 (一般流通)	192,500	4.7	225,469	4.7	32,969	117.1
外販 (OEM販売) ※2	1,305,490	31.6	949,739	19.6	△355,751	72.7
直販 (EC)	1,540,410	37.3	2,546,861	52.6	1,006,451	165.3
合計	4,130,418	100.0	4,843,668	100.0	713,249	117.3

※2 OEM販売額のうち、インターネット販売を主としているOEM先への売上高

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は3,531,703千円となり、前事業年度末と比較して360,805千円増加しました。これは主に、売掛金が676,252千円増加し、受取手形が341,608千円減少したことによるものです。固定資産は162,689千円となり、前事業年度末と比較して30,234千円減少しました。これは主に、繰延税金資産が25,378千円、特許権が1,426千円減少したことによるものです。

以上の結果、総資産は3,694,392千円となり、前事業年度末と比較して330,570千円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は1,715,688千円となり、前事業年度末と比較して1,072,759千円増加しました。これは主に、短期借入金が1,130,000千円、未払金が116,686千円増加し、未払法人税等が153,881千円、未払消費税等が18,692千円減少したことによるものです。固定負債は34,970千円となり、前事業年度末と比較して2,335千円増加しました。これは、退職給付引当金が3,030千円増加し、リース債務(長期)が694千円減少したことによるものです。

以上の結果、負債合計は1,750,658千円となり、前事業年度末と比較して1,075,094千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は1,943,734千円となり、前事業年度末と比較して744,523千円減少しました。これは主に、自己株式が557,123千円増加し、利益剰余金が193,998千円(配当金支払399,848千円、四半期純利益

205,849千円)減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年11月14日付「2023年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、本日(2023年2月14日)に公表しました「通期業績予想および配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,175,740	904,020
受取手形	695,682	354,073
売掛金	333,383	1,009,635
商品	726,547	1,001,270
貯蔵品	196,154	164,297
前払費用	33,549	70,758
未収還付消費税等	-	11,430
その他	10,465	16,216
貸倒引当金	△624	-
流動資産合計	3,170,898	3,531,703
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	20,281	18,944
工具、器具及び備品（純額）	36,225	35,324
リース資産（純額）	2,429	1,822
有形固定資産合計	58,936	56,090
無形固定資産		
特許権	1,426	-
商標権	1,376	1,188
ソフトウェア	28,071	27,675
無形固定資産合計	30,874	28,864
投資その他の資産		
繰延税金資産	77,344	51,965
差入保証金	10,069	10,069
敷金	15,688	15,688
その他	10	10
投資その他の資産合計	103,112	77,734
固定資産合計	192,923	162,689
資産合計	3,363,822	3,694,392

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,453	181,742
短期借入金	70,000	1,200,000
リース債務	897	922
未払金	89,042	205,728
未払費用	14,231	22,336
未払法人税等	226,628	72,746
未払消費税等	18,692	-
預り金	3,465	4,944
賞与引当金	20,260	10,766
その他	7,258	16,500
流動負債合計	642,929	1,715,688
固定負債		
リース債務	1,895	1,200
退職給付引当金	30,740	33,770
固定負債合計	32,635	34,970
負債合計	675,564	1,750,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	110,000	110,000
資本剰余金		
その他資本剰余金	31,740	38,338
資本剰余金合計	31,740	38,338
利益剰余金		
利益準備金	15,000	27,500
その他利益剰余金		
別途積立金	110,000	110,000
繰越利益剰余金	2,733,855	2,527,356
利益剰余金合計	2,858,855	2,664,856
自己株式	△312,337	△869,460
株主資本合計	2,688,257	1,943,734
純資産合計	2,688,257	1,943,734
負債純資産合計	3,363,822	3,694,392

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,130,418	4,843,668
売上原価	1,528,339	1,565,470
売上総利益	2,602,079	3,278,197
販売費及び一般管理費	1,980,756	2,985,029
営業利益	621,323	293,168
営業外収益		
受取利息	5	4
助成金収入	-	2,010
雑収入	3,288	9,481
営業外収益合計	3,293	11,496
営業外費用		
支払利息	333	2,114
自己株式取得費用	-	3,564
為替差損	224	56
雑損失	12	76
営業外費用合計	570	5,813
経常利益	624,046	298,851
税引前四半期純利益	624,046	298,851
法人税、住民税及び事業税	169,191	67,623
法人税等調整額	22,753	25,378
法人税等合計	191,944	93,002
四半期純利益	432,101	205,849

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月12日から2022年6月30日の期間において自己株式248,100株を取得し、2022年8月12日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月15日から2022年9月30日の期間において自己株式98,200株を取得し、さらに2022年11月21日開催の取締役会決議に基づき、2022年11月22日から2022年12月27日の期間において自己株式127,500株を取得しました。これにより、自己株式が580,993千円増加しております。また、2022年7月28日に当社取締役及び従業員に対し、譲渡制限付株式報酬としての自己株式24,045株の処分を実施いたしました。これにより、資本剰余金が6,568千円増加し、自己株式が22,787千円減少しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が38,338千円、自己株式が869,460千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる当第3四半期累計期間に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、卵殻膜ヘルスケア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。